



「今の時期の流れをつかむことで営業活動を荷主の信頼を得ている。サブライズ東京研修を開催。ヤマト・スタッフ

太田氏は、クレームして対処することの重調した。(千葉由之)

低炭素型物流を展開する越野運送(大阪市都島区)はこのほど、「おおさかエコド

ライブ大賞」を受賞した。これは環境再生保全機構が手掛けるエコドライブ・コンテストと連動させて受賞者を決めており、大阪府下の4事業者の中で同社のエコに対する取り組みが評価された。

同社は昨年、荷主とのパートナーシップによるグリーン物流構築に取り組み、国交省の実証実験モデルに選定されており、物流を一元・集約化することに加えてモーターシフトにも移行し、従来の輸送と比べ大幅に二酸化炭素排出量を削減。それに加え、CNG車の積極的な導入で環境負荷低減物流

を推進する。

またグリーン経営認証に続き、今年4月にはISO14001認証を取得。さらに、エコ配送だけでなく本社社屋の緑化など、



今後の方針を語る越野泰弘社長

低炭素型物流を追求 「エコドラ大賞」受賞

越野運送

さまざまな取り組みで地球環境に優しい取り組みを展開している。

越野泰弘社長は「これまでの取り組みが評価されたことは大変励みになる」として、「企業イメージの向上とドライバーの意識高揚にもつなげていきたい」と意気込む。太陽光発電や省エネ商品など環境保全に対する商品が注目される中、運送業にとってキーワードになるのはエコ配送やエコ物流となるが、越野社長は「環境に優しい物流の仕組みを築けた。低炭素型物流という取り組みを専門職的に強く打ち出していきたい」と語り、「既存のお客様に貢献すると共に新たな販路の拡張にもつなげていく」と語る。(山田克明)